

研修報告

グローバル研修：退院支援研修①

◆テーマ：どうしてですか？ コロナ禍での退院支援
～COVID-19による退院支援の現状と課題～

◇開催日時：2021年1月30日(土) 13:30-16:40

◇配信方法：Zoomによるライブ配信

◇内容：【講義】

急性期、回復期、在宅でどのような変化が生じているか、急性期、回復期、在宅の立場からの講義を受け、理解を深める。

・公立陶生病院 水野 大介 氏

・上飯田リハビリテーション病院 佐藤 顕世 氏

・居宅介護支援事業所ハートフルハウス 加藤 圭子 氏

【グループワーク】

やってみよう！Zoomでグループワーク

～COVID-19による退院支援の現状と課題～

◇参加人数：18人

◇アンケート

コメント紹介◇ ～一部抜粋～

- 面会の問題や患者家族への情報伝達、各機関との情報共有の仕方などそれぞれの病院ごと工夫されておられることや他地域で起きている問題など知ることができました。後方機関からの受け入れ時のPCR検査要求など当院のある地域ではまだ起きていない事象でも近いうちに求められる可能性も充分あると考え、適切に対処するには院内の感染対策部門や医師などへの働きかけをどうするのか具体的に部署内で検討しておく必要があると考えました。
- コロナ前とは、がらりと変わっている退院支援の方法が実践されている現状を共有できて良かったと思います。研修もリモートになっているので、私自身、リモートに慣れていかなければと痛感いたしました。
- 幼児2人がおり自宅で研修を受けたが問題ない。移動時間を考えると以前より参加しやすい。グループワークはファシリテーターの進行により情報交換はスムーズにできた。発言時間が限られるなかで自身の考えをまとめて話す能力が必要だと感じた。
- グループワークはズームだとアイコンタクトが取れないこともあり、なかなか発言しにくかったです。対面であれば、もう少し掘り下げて聞きたいと思ったお話や他院のMSWさんにちょっと聞いてみたいと思う程度のことも聞けるのにな、と思うところがいくつかありました。

退院支援研修①について

退院支援研修委員会 澤田 昭宏

当委員会としてオンラインでの初めての開催であり、不安を抱えながら開始しましたが、Zoomの操作上のミスや、参加された方のオンライン環境におけるトラブルも若干生じたものの大きなトラブルはなく、講義、ブレイクアウトセッション（グループワーク）も行うことができたことに安堵しています。一方、準備に時間がかかり、また、不慣れなこともあり、会員の皆さまへの周知から開催までの期間が短くなり、十分な周知期間が確保できなかったことは反省をしています。

オンラインでの研修の準備については初めてのことでありまだまだ勉強をしていくことが必要だと感じておりますが、とにかく開催できたことはよかったと思っています。ブレイクアウトセッションも行ってみましたが、対面でのセッションではないので不自然さや未消化だった部分もあるのではないかと感じますが、アンケートにおいて、オンライン開催を歓迎するコメントもあり、参加者の選択肢が増えるという点において、一定の評価はできるのではないかと考えております。

今後もオンラインが中心となりますが、研修の質の向上を目指して、いろいろなことに取組んでいきたいと思っております。